

平成22年度事務事業評価シート（平成21年度分）

予算科目	会計	一般会計	001	款	02	項	01	目	11
事務事業名	神宮寺駅舎管理運営事業								
担当部署	神岡総合支所地域振興課	3203000	電話	0187-72-4601			内線	143	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	04:生活の基盤が整ったまちづくり
	施策の大綱	02:公共交通の整備
	施策	01:鉄道の利便性の促進
	施策の内容	04:駅舎の整備・維持管理
根拠法令等	大仙市神宮寺合築駅舎交流施設条例・同施行規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	駅利用者の利便性の確保するとともに駅通路を自由通路として活用することにより市民生活の利便性の向上を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	駅利用者及び駅周辺住民。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	駅業務を第三者に委託し、駅利用者への乗車券類の販売、鉄道情報の提供や駅舎の清掃等を実施する。市には、乗車券の発売金額に応じてJRから発売手数料利用が入る。手数料は定期券が1.8%、その他の乗車券は5.0%である。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	無人駅とせず、駅員を配置することで鉄道利用者へのサービス向上が図られるとともに防犯対策にもつながる。また、地域の玄関口にふさわしい駅舎の維持管理が期待できる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 駅の営業日数	通年	366	365	365
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 乗車券類の発売枚数	枚	18,334	18,000	15,322
	② 乗車券類の発売手数料	円	751,149	760,000	622,987
	③				
投入コスト	決算額		2,507千円	3,300千円	3,367千円
		一般財源	1,756千円	2,470千円	2,632千円
	人件費		1,427千円	1,427千円	1,409千円
		一般職員の年間従事人数	0.2人	0.2人	0.2人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト	(決算額+人件費)	3,934千円	4,727千円	4,776千円

事業を取り巻く環境	乗車券類発売と施設の管理を委託しているので決算上は人件費が出てこないが、実質的にはほとんどが人件費になっている。平成20年度にまちづくり交付金事業により都市交流施設を兼ねた新駅舎が完成し、利便性が向上したが従来の委託費に加え施設の維持管理経費が増加している。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	人口減少などにより、利用者は減少傾向にあるが、神岡や南外地域の学生や通勤者への利便性を図る上でも必要である。駅通路を市民の南北通路として開放していることや、市とJRが業務委託を結んでいるため、市が業務を行う必要がある。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	駅舎の適正な維持管理を行っていることで、駅舎の保全・防犯対策が図られている。南北通路も改修整備し、利便性に加え、安全面も強化された。また、観光情報等の案内表示等を増やすことにより、利用者の増加も見込める。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	B
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置（従事職員数、臨時雇用等）により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	B
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	業務委託費と施設の維持管理費は、指定管理者制度等である程度の圧縮は可能と考えられるが、市民サービスの低下を招かないように利用者の合意を得ながら合理化を進めていく必要がある。また、市内にある駅について、管理方法等を統一することでコスト減などに繋がると考えられる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
現状	A 現状のまま継続	鉄道は長距離移動（輸送）手段として、また通学通勤など、交通機関の根幹を担っており、駅舎は地域の顔の一つである。そこを維持管理し、切符販売することは地域にとって大切な業務である。基本的には現在の管理形態を維持していきたい。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	